

圏央道開通区間概要

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化・環境改善、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。今回開通区間を含めて、現在までに約220kmが開通しています。

● 今回開通区間の概要

路 線 名：国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

開 通 区 間：久喜白岡JCT(埼玉県久喜市下早見)^{く き し も は や み}～境古河IC(茨城県猿島郡境町西泉田)^{さ し ま ぐ ん さ か い ま ち に し い ず み だ}

開 通 日 時：平成27年3月29日（日）15時

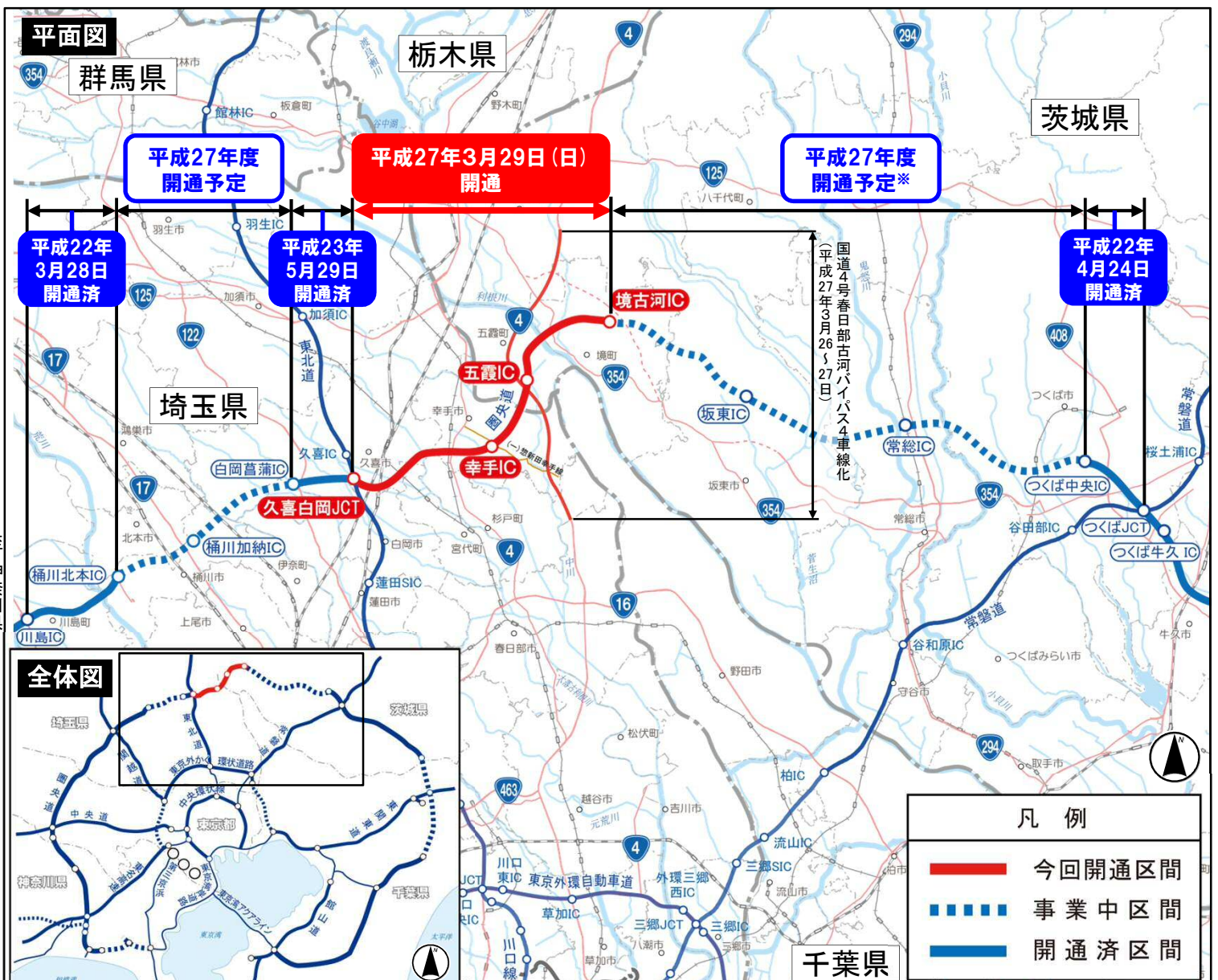
延 長：19.6km

車 線 数：暫定2車線

開 通 IC：幸手IC、五霞IC、境古河IC

アクセス道路：(一)惣新田幸手線、新4号バイパス、国道354号バイパス

■ 今回開通区間の位置図



※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合